

5 内視鏡センター

川崎市立井田病院内視鏡部門は 2015 年 2 月より、内視鏡室から内視鏡センターに改組となりました。これまでの内視鏡室の内視鏡検査ブース 3 室+回復ベット 5 ベットから内視鏡検査ブース 6 室（X線透視室 1 室を含む）+回復ベット 8 ベットに拡張され、加えて全処置専用室、患者ロッカールーム、診察室 2 室を備え大きく拡充された編成となりました。

2014 年度には日本消化器内視鏡学会指導医 4 名、専門医 1 名の指導のもと上部消化管内視鏡 4400 件、下部消化管内視鏡 1600 件、膵胆道系内視鏡 130 件、気管支鏡 120 件が施行され、食道・胃・大腸の早期癌内視鏡治療（ESD/EMR）、内視鏡的胃瘻増設術、食道静脈瘤治療、内視鏡的止血術、胆道結石除去術などを施行してきました。2014 年 10 月より指導医 1 名が増員され、この結果上部消化管領域では咽頭・喉頭と十二指腸の早期癌に対する内視鏡治療や食道アカラジアへの内視鏡治療、胃十二指腸静脈瘤治療などが新たに可能となりました。

川崎市立井田病院内視鏡センターは内視鏡機材の更新、スタッフドクターの増員、検査ブースの拡張などにより消化管領域では画像強調拡大観察機能の強化に伴いほぼすべての内視鏡診断と治療が可能となり、特に咽喉頭・食道領域では日本の最先端の診断・治療が行える様になりました。膵胆道系内視鏡・気管支鏡領域においても更なる治療内視鏡の拡大が可能な体制とする事ができました。

今後、地域がん診療拠点病院、臨床研修指定病院における内視鏡センターとして安全な内視鏡検査と最先端の内視鏡診断治療を提供すべく進歩発展に努める所存です。皆様のご支援・ご指導をお願い申し上げます。

（文責 内視鏡センター長 大森 泰）

6 MEセンター

MEセンターの業務は、臨床業務と医療機器管理業務に分かれています。臨床業務では血液浄化が中心となり、医療機器管理業務では中央管理が主軸となっています。

2014 年度現在、MEセンターの組織図はセンター長が小野塚副院長、副センター長を小林医長とし、職員である臨床工学技士（常勤 4 名、臨時職員 1 名の計 5 名）により運営されています。2014 年度の人事異動は、臨時職員の 1 名退職、それに伴う入職がありました。

2014 年度の主な実績は以下の通りです。

血液透析 5504 件（前年比 90%）、アフェレシス 62 件（前年比 117%）、人工呼吸器 184 件（前年比 47%）、心臓カテーテル検査・治療 185 件（前年比 117%）、中央管理による日常点検 4508 件（前年比 124%）、定期点検 1216 件（前年比 233%）でした。血液透析、人工呼吸器は前年比を下回りましたが、医療機器管理業務が増え、臨床工学技士による定期点検の実績は昨年より 2 倍以上の結果となりました。

今後、心臓ペースメーカー治療への介入を業務として取り入れ、更なる治療の支援に努めていこうと考えております。

（文責 臨床工学技士 千葉 真弘）